

總論

本白閣議提出ノ事ト是
閣議決定後議會へ提出
基子班

第一條 本法ハ大東亞戰爭ニ際シ築城、設營其他勅令ヲ以テ定ムル軍事

上緊要ナル事項ノ整備ヲ目的トス

本法ハ勅令ヲ以テ定ムル區域ニ之ヲ適用ス

第二條 政府ハ必要アルトキハ土地、建物其ノ他ノ工作物又ハ物件ヲ管

理、使用、收用又ハ処分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ官理、使用又ハ收用シタル土地、建物、其ノ他ノ工

作物又ハ物件ノ不用ニ歸シタル場合ノ処分ニ關シテハ勅令ノ定ムル所

ニ依ル

第三條 政府ハ必要アルトキハ建物其ノ他ノ工作物ノ移轉若ハ除却ヲ命

ジ、此等ノ新築、改築若ハ増築ヲ禁止若ハ制限シ又ハ土石竹木ノ採取

0865

若ハ除却ヲ命シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者其ノ命令ニ従ハサルトキ又ハ緊急ノ必要アルトキハ政府ハ其ノ物ノ移轉、採取又ハ除却ヲ爲スコトヲ得

第四條 政府ハ必要アルトキハ任居ノ移轉ヲ命シ、任居ノ指定ヲ爲シ又

ハ人若ハ物件ニ付移助ヲ命シ若ハ移助ヲ禁止若ハ制限スルコトヲ得

第五條 政府ハ必要アルトキハ帝國臣民ヲシテ所要ノ業務ニ従事セシメ又ハ帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ之ニ協力セシムルコトヲ得

第六條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第二條乃至第四條ノ命令又ハ處分ニ因リ生シタル損失ヲ補償ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

0866

一 第二條第一項ノ規定ニ依ル土地、建物其ノ他ノ工作物又ハ物件ノ
管理、使用、收用又ハ処分ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者

二 第三條第一項又ハ第四條ノ命令又ハ禁止若ハ制限ニ違反シタル者

第八條 第五條ノ規定ニ違反シ所爲ノ業務ニ從事セサル者ハ一年以下ノ

懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

0867

二十班
橋中

軍事特別措置法

昭和四 一九
閣議決定

第一條 本法ハ大東亞戦争ニ際シ業或ハ設備其ノ他勅令ヲ以テ定ムル

軍事上緊要ナル事項ノ整備ヲ爲スヲ以テ目的トス

本法適用ノ區域ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 政府ハ必要アルトキハ勅令ノ屬スル所ニ依リ土地、建築物其

ノ工作物又ハ物件ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ收用シタル土地、建築物其ノ他ノ工作物不用ニ歸ス

ル場合ニ於テ其ノ處分ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第三條 政府ハ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築物其ノ他ノ工

物ニ付移轉、除却其ノ他ノ行為ヲ命ジ若ハ新築、改築、増築、修繕

除却其ノ他ノ行為ヲ禁止若ハ制限シ又ハ土石竹木其ノ他ノ物件ニ付移

0868

轉、除却其他ノ行為ヲ命シ若ハ之ヲ禁止若ハ制禁スルコトヲ命
前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者其ノ命令ニ從ハサルコトヲ命
録ノ必要アリトキハ政府ハ同項ニ掲クル物ニ付移轉、限制其職ノ行
爲ヲ爲スルコトヲ得

0869

第四條 政府ハ必要ナルトキハ住居ノ移轉ヲ命シ若ハ之ヲ禁止若ハ制限シ住居ノ指定ヲ命シ又ハ人ノ移動ヲ命シ若ハ禁止若ハ制限スルコトヲ得

第五條 政府ハ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲシテ所屬ノ業務ニ從事セシメ又ハ帝國法人其他ノ團體ヲシテ之ニ参加セシムルコトヲ得

第六條 政府ハ第二條乃至前條ノ場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ該官吏ヲシテ必要ナル場斷ニ立入り検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第二條乃至第四條ノ規定ニ依リ勅令又ハ其分ニ因リ生シタル損失ヲ補償スルコトヲ得

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二條第一項ノ規定ニ依ル土地、建物其ノ他ノ工作物又ハ物件ノ管理、使用又ハ收用ヲ拒ミ妨ゲ又ハ忌避シタル者

二 第三條第一項又ハ第四條ノ規定ニ依ル命令又ハ禁止若ハ制限ニ違反シタル者

三 第三條第二項ノ規定ニ依ル移轉、除却其ノ他ノ行爲ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第九條 第五條ノ規定ニ違反シ、斷要ノ業務ニ從事セザル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 第六條ノ規定ニ依ル該官吏ノ立入検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌

● 違シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

0872